

令和元年7月18日

令和元年度 第2回全国健康保険協会福岡支部評議会

資料3

令和2年度 福岡支部事業計画(うち医療費適正化部門)の検討について

1. 現状の確認

1. 現状の確認（予算）

予算枠は今年度（令和元年度）より広報経費と医療費適正化経費を合わせ、支部保険者機能強化予算へと変更し、その額も31,250,000円になった。広報経費と医療費適正化経費の予算配分は支部の裁量で決定できる。

	平成30年度		令和元年度	
	事業内容	予算(円)	事業内容	予算(円)
広報経費	<ul style="list-style-type: none"> ●紙媒体による広報 ●福岡労働局・福岡県・福岡市・北九州市との共同によるメンタルヘルス対策セミナー開催 	6,185,932 326,440	<ul style="list-style-type: none"> ●紙媒体による広報 <ul style="list-style-type: none"> ・事業所向けチラシ(毎月) ・任意継続加入者向けパンフレット ・協会けんぽのしおり ・年金事務所主催算定説明会資料 ・年金事務所主催年金委員研修会資料 ・メールマガジン配信に関する広報チラシ ・社会保険ふくおかへの同封チラシ作成及び同封手数料 ・無資格受診発生の未然防止ポスター ・限度額認定証使用促進のためのポスター 	7,436,970
医療費適正化経費	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #e0f2f1;"> 予算枠が無い（0円）ため、支部の判断で予算計上する場合は支部の保険料率計算時に計上分を上乗せして計算する。 </div>	0	<ul style="list-style-type: none"> ●事業所訪問等によるジェネリック医薬品等普及勸奨業務委託 ●重複服薬者へのお薬手帳ホルダー送付事業 ●福岡労働局・福岡県・福岡市・北九州市との共同によるメンタルヘルス対策セミナー開催 ●健康保険証未返納者への返納電話催告委託業務 	9,019,640 6,076,400 324,440 5,290,920
合計		6,512,372		28,148,370
予算枠		6,513,000		31,250,000

令和2年度事業の検討



1. 現状の確認（スケジュール）

<来年度（令和2年度）事業計画にかかる評議会スケジュール>

6月評議会 令和2年度 福岡支部事業計画（うち広報部門）の検討について

○第1回 評議会での広報に関する主なご意見

- 理解しやすい、使いやすい広報に努めること。
- 費用対効果をしっかり考えること。
- スマートフォンのアプリを活用してはどうか。
- 若年層（小中学生）への出前授業をしてみてもどうか。

7月評議会 令和2年度 福岡支部事業計画（うち医療費適正化部門）の検討について



事務局案の作成

10月評議会 支部保険者機能強化予算（案）の提示



議論を踏まえた修正

1月評議会 支部保険者機能強化予算の承認

2. 福岡支部の課題

2. 福岡支部の課題

- 一人当たり医療費（年齢調整後）が全国5位（平成29年度）
 - ・医療費：約2,700億円/円 給付金：約300億円/円
 - ・特に入院医療費が高い（受診率が高く、1件当たりの日数が長い）
 - ・新生物、循環器系の疾患、消化器系の疾患、生活習慣病のどれも平均より医療費が高い
 - ・深夜加算の発生率が全国3位
- 健康保険に関する情報（広報紙等）が事業所内で周知されていない（69%）
- 医療保険制度等の加入者理解率が全国平均より低い
理解度が低い項目：「健診データの提供」「特定保健指導」「健康宣言（コラボヘルス）」
- 特定保健指導の実施率向上
（平成29年度実施率 福岡支部：10.6% 全国平均：13.2%）
- 資格喪失後（退職後）も保険証を返却せず、無資格で医療機関を受診
（これによる被害額は福岡支部だけで年間2億円）
- 柔道整復療養費の支給件数、金額が多い
（平成29年度 支給件数 福岡支部：998,077件 全国：15,269,995件）
（平成29年度 1件あたり支給額 福岡支部：4,379円 全国：4,371円）

《その他、周知したいこと》

保険料率 インセンティブ制度 限度額適用認定証の利用促進 交通事故等の第三者行為届の提出
業務災害等には健康保険が使えないこと ジェネリック医薬品の使用促進 医療のかかり方

3. 医療費適正化事業（案）

3. 医療費適正化事業（案）

案1 事業所訪問等によるジェネリック医薬品等普及勧奨業務委託（継続事業）

事業所ごとの健康づくりに関する指標を情報提供し、現状把握をしていただいたうえで、健診受診率向上などに向けた文書・電話・訪問勧奨を実施する。

実施予定件数：電話勧奨 2,000件
電話&訪問勧奨 1,900件

予算規模：900万円程度

従業員（被保険者）の健診「生活習慣病予防健診」

協会けんぽに加入の被保険者が受診できるサービスです。

① 生活習慣病予防健診を受診するメリット

- ポイント1** 健診費用の補助が助かります
一般健診のみの場合18,522円（最高）がかかる場合、7,038円で受診することができます。協会けんぽより11,484円の補助が出ます。（消費税5%の場合）
- ポイント2** 保健師等による特定保健指導を無料で利用できます
健診結果により、協会けんぽの保健師等が事業所へ訪問し、その方にあった生活習慣改善を提案します。
- ポイント3** がん検診がセットになっています
一般健診には胃・肺・大腸がん検診が含まれています。
- ポイント4** 労働安全衛生法の事業者健診（定期健診）の内容を含んでいます

生活習慣病予防健診の内容等

健診の種類	検査の内容	対象者	自己負担料
一般健診	※診察等 ※身体計測 ※血圧測定 ※尿検査 ※健康相談検査 ※血液検査 ※胸部レントゲン検査 ※心電図検査 ※眼底検査（医師が必要と判断した場合のみ実施）	35歳～74歳の方	7,038円 (7,109円)*
子宮頸がん検診（専攻検診）	※検診 ※相談	20歳～39歳の 負数年齢の女性の方	1,020円 (1,038円)*
付加健診	※特定保健指導検査 ※健康学習指導 ※生化学的検査 ※尿検査 ※聴覚検査 ※頸動脈超音波検査	一般健診を受診する 40歳～59歳の方	4,714円 (4,809円)*
乳がん検診	※検診 ※乳房エックス線検査	一般健診を受診する 40歳～74歳の 負数年齢の女性の方	(50歳以上) 1,050円/1,060円* 14歳～49歳* 1,655円/1,665円*
子宮頸がん検診	※検診 ※相談 ※検診 ※相談 ※子宮頸がん検診検査キット提供	一般健診を受診する 30歳～74歳の 負数年齢の女性の方	1,020円 (1,038円)*
巨大ウイルス検査	※HCV抗体検査 ※HIV抗体検査	一般健診を受診する 35歳～74歳の方	612円 (624円)*

*（ ）は、消費税率が10%に引き上げられた場合の自己負担額です。

事業者健診結果の提供をお願いします

協会けんぽでは、事業者様が実施する労働安全衛生法に基づく事業者健診（定期健康診断）を受けている方の健康増進を目的として、健診結果の提供をお願いしています。

事業者健診結果を提供するメリット

特定保健指導が無料でご利用いただけます！(6ページ参照)
ご提供いただいた健診結果に基づき、協会けんぽの保健師・管理栄養士が職場を訪問し、生活習慣の改善に関する資料の健康相談（特定保健指導）を行っています。

提供の対象の方 40歳～74歳までの従業員（被保険者）
※協会けんぽの生活習慣病予防健診を受診されている方、および受診予定の方に限ります。

Q & A

Q 個人情報でもある健診結果を提供しても問題はないですか？

A 問題ありません。
健診結果の提供については「高齢者の医療の確保に関する法律」第27条にて規定されており、事業主さまが法的責任に関われることはありません。ご提供いただいた健診結果につきましては、個人情報保護に関する法律および労働安全衛生法個人健康情報管理に関する規定に基づき、適切に取扱いいたします。

ご担当者様

全国健康保険協会福岡支部

従業員の健康づくり等に関する指標について（情報提供）

平素より、当協会の事業運営にご協力いただきありがとうございます。

さて、高齢化等の要因により国民医療費は増大し、福岡支部の健康保険料率は全国平均を上回る 10.24%まで上昇してまいりました。加入者の皆様へのご負担とともに、保険料を折半でご負担いただいている貴事業所の経営にも影響を与えているものと承知しております。

このような状況を改善すべく、当協会では各職場における健康づくり等を推進しています。つきましては、貴事業所内における健康づくりにかかる各種指標を情報提供いたしますので、ご参考にしていただき、職場内の健康づくりにお役立ていただければと存じます。

＜平成30年度実績＞

	健康づくり等に関する指標	貴事業所の状況	『協会けんぽのサービス一覧』参照ページ
①	被保険者(従業員)の健診受診率 (40歳以上)	42.0% 【福岡支部平均：60.4%】	P3、4
②	被扶養者(ご家族)の健診受診率 (40歳以上)	18.0% 【福岡支部平均：23.5%】	P5
③	特定保健指導の実施有無	未実施 【福岡支部実施率：25.9%】	P6、7
④	健康宣言ふくおかへの参加状況 (H31.4月末時点)	未参加 【558事業所が宣言中】	P1、2
⑤	ジェネリック医薬品使用割合 (H31.1月時点)	69.8% 【全国：76.0% 福岡：77.5%】	P13
⑥	健康保険委員の選出状況 (H31.4月末時点)	未委嘱 【福岡支部全体：36.1%】	P11、12
⑦	保険証回収率(H30.4月～12月)	99.6% 【福岡支部全体：97.46%】	P8

『協会けんぽのサービス一覧』

（お問合わせ先）

全国健康保険協会福岡支部 TEL 092-283-7621(自動音声案内)

・上記①～③(保健グループ) → 最初のアナウンスで「2」を、次に「4」を選択

④～⑥(企画総務グループ) → 最初のアナウンスで「2」を、次に「5」を選択

⑦(レセプトグループ) → 最初のアナウンスで「2」を、次に「3」を選択



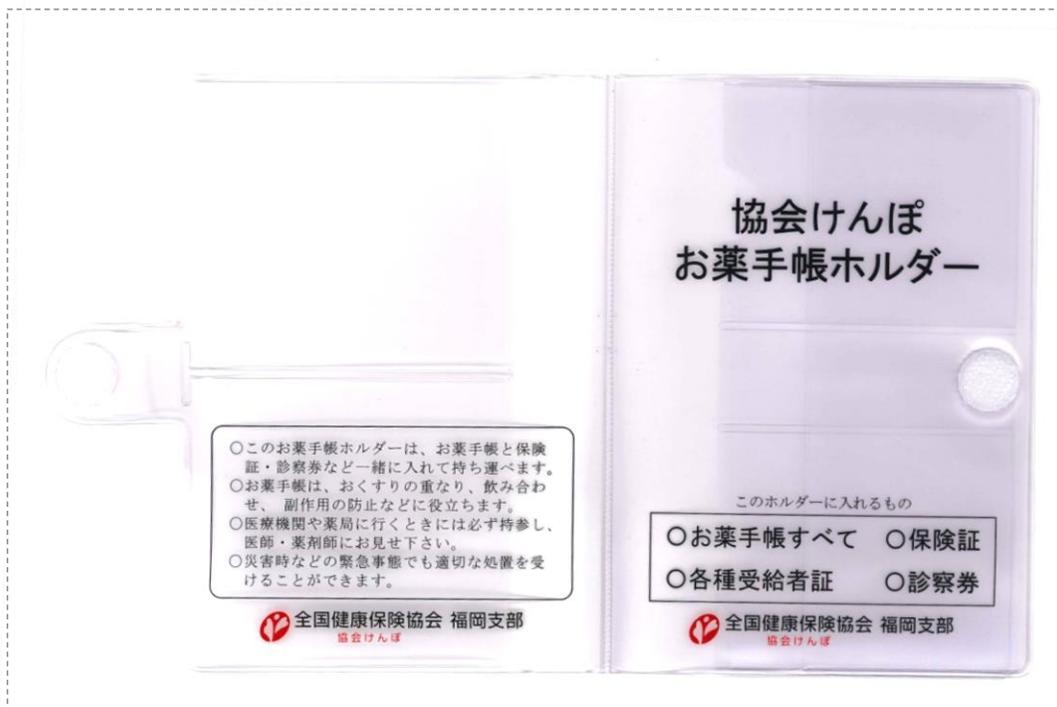
3. 医療費適正化事業（案）

案2 重複服薬者へのお薬手帳ホルダー送付事業（継続事業）

重複服薬者に対し「お薬手帳ホルダー」を送付して、お薬手帳の1冊化を勧め、重複服薬の改善（適正使用）を図る。

実施予定件数：10,000件

予算規模：600万円程度



～お薬手帳は一人一冊に～

- ◆お薬手帳は、あなたが安心してお薬を使用するための大切な記録です。
- ◆医師・薬剤師が治療にかかわる上で重要で欠かせない情報です。
- ◆薬の重複やよくない飲み合わせを未然に防止できます。

- ・医療機関や薬局にはお薬手帳を必ず持って行きましょう。
- ・体調の変化や気になったこと、医師や薬剤師に相談したいことを、お薬手帳の余白などに書いておきましょう。
- ・飲んでいるすべての薬を一冊で記録することが大切です。病院や薬局ごとにもらったお薬手帳は『一人一冊』にまとめましょう。



「お薬手帳ホルダー」は、保険証・診察券などをいっしょに収納できます。ぜひ、ご活用ください。



- ・現在飲んでいるお薬で気になることがありますか？
副作用のこと、飲みにくさのこと
他のお薬や食べ物との飲み合わせのこと
- ・自分の飲んでいるお薬が多いと感じますか？
- ・お薬はできれば減らしたいと感じますか？
- ・別々にもらったお薬が重複していないか確認していませんか？



お薬のことで、気になること、相談したいことがございましたら、医師・薬剤師にご相談ください。

（送り元）全国健康保険協会福岡支部
福岡県保健医療介護部薬務課・医療保険課
福岡県医薬品適正使用促進連絡協議会

3. 医療費適正化事業（案）

案3 メンタルヘルス対策セミナー（継続事業）

加入者・事業主の関心度が高いメンタルヘルス対策に関するセミナーを開催する。
（福岡労働局・福岡県・福岡市・北九州市・飯塚市との共催）

開催予定回数：県内4回

予算規模：32万円程度

案4 健康保険証未返納者への返納電話催告委託業務（継続事業）

資格喪失・扶養解除等届出時に健康保険証の添付がされていなかった被保険者に対し、委託先事業者による架電での返納催告を実施する。委託先事業者による夜間や休日の架電により、接触率の向上が期待できる。

実施予定件数：10,000件

予算規模：300万円程度

3. 医療費適正化事業（案）

案5 糖尿病薬服薬中断者への重症化予防事業（新規事業）

4か月以上治療を中断している人をレセプトデータから抽出し、
早期に通知文書を送付することで糖尿病治療中断を防ぎ
重症化を予防する。

実施予定件数：10,000件

予算規模：750万円程度

服薬中断の結果の健康問題について理解を促す

人工透析に関する基礎的な情報や他の疾患にも罹患しやすいことを伝え、医療機関の受診を促すとともに、担当者からの保健指導があった場合にも、基礎知識を持った状態でのぞめるようにする。

現金後払郵便
ゆうメール

糖尿病の治療をせず、このまま放っておくと

人工透析になる可能性もあります
腎臓が正常に機能しなくなると、透析など腎臓の機能を代行する治療が必要です。

糖尿病以外の病気のリスクが高まります
糖尿病が悪化すると、視力の低下や心・合併症が表れる恐れがあります。

人工透析は一度始めると生涯続けることとなります
(腎臓病)の進行を防ぐ

人工透析の場合、通常週3回、11時～5時程度かけて人工的に血液の浄化を行い、透析に慣え、食事制限も必要となり、日常生活に大きな負担がかかります。

糖尿病以外の人は、腎機能が正常の人と比べて、心臓病や脳卒中になる危険性が1.3～2.3倍高いと知られています。

詳しい内容は中面をご覧ください

3. 医療費適正化事業（案）

案6 薬剤師会と連携した投薬適正化事業（新規事業）

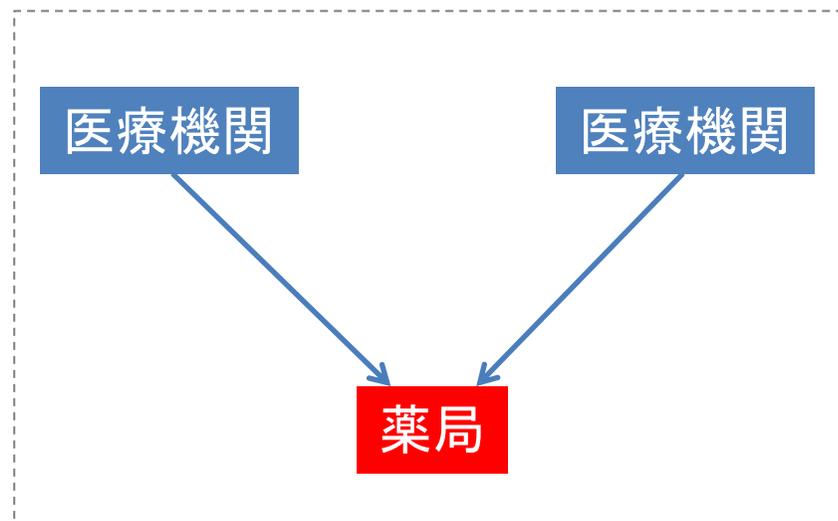
右のケースにおいて、お薬手帳が無くとも各薬局の管理のもと重複投薬を防止できるケースであるが、相当程度の重複が発生していることが分かった。

レセプトからデータを抽出し対象の保険薬局に具体的な発生事実を通知で示し、改善に期待する。

通知後一年間の状況を観察し、効果を測定する。

実施予定件数：最大2,700件

予算規模：470万円程度



<通知対象ケース>

《通知》

以下の薬剤に関し重複となっていないかご確認ください。

重複者氏名	処方医療機関	受診日	処方薬剤名	数量	調剤日
〇〇協子	Aクリニック	R1.8.2	XYZ錠	28日分	R1.8.2
	Bクリニック	R1.8.7	XYZ錠	28日分	R1.8.7
	C病院	R1.8.18	XYZ錠	28日分	R1.8.18

同一薬効同一分類の内服医薬品

